

A. 主な動き

1. 内政

・9日、フィラト首相は、モルドバ第2の都市バルチの自治権拡大問題に関し、モルドバ政府とバルチ市行政府が参加する作業部会の創設を指示。

2. 経済

・7日、国家統計局は、2012年上半期における農作物平均価格が対前年同期比で2.3%下落、野菜類は15%減、穀物類は10%減、肉類は18%増と発表。

・8日、フィラト首相は、国内の干ばつがピークに達している、農業分野でこのような難しい天気は1961年以来である、これに対処するため、農業・食品産業省に対して、被害額算定を急ぐとともに、農業分野における均一税率導入の検討を指示した旨発言。今後、IMF、世銀や各ドナー国に対して支援を求めていく旨発言。

3. 外政

・7日、グツ自由党議員及びボルマン民主党議員は、欧州統合プロセスにおける議会の役割を強化する法案を議会に7月27日に提出した旨発表。

・7日、欧州委員会は、モルドバの改革支援のための9,400万ユーロの新たな財政支援を3日に決定した旨発表。本支援は、司法改革、地方の発展及び教育制度の向上等に充当。

・7日、外務・欧州統合省は、ニクーリン合同管理委員会報道部員がスパイ容疑で4月にオデッサで身柄を拘束され、現在キエフの拘置所に収監されているとの報道を認める旨の声明を発表。

・8日、フィラト首相は、メルケル独首相のモルドバ訪問が22日に決定した旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)